

報 告 書

決 裁	会長	事務局長	次長	係長	管理者			係
報告日		平成 27 年 11 月 17 日		決裁日		平成 年 月 日		
記 載 者	佐藤	実施日/時		平成 27 年 11 月 1 日 10:00~11:30				
		場 所		りんどう荘				
用 件	馬場自主防災組織 防災・見守りマップづくり							

準備 福祉課との打合せ（10月21日） 佐伯さんとの打ち合わせ（10月28日）
資料作成（10/27、10/30）



当日 8:30~9:30 会場設営（自治会役員、社協（佐藤）、福祉課（田北））
9:30 受付（自治会担当者）
10:00 開会（司会進行 社協 佐藤）
馬場自主防災 副会長挨拶（高村卓信）
オリエンテーション（本日の目的・流れについて）
スライド学習（ひとちいき計画ネットワーク 佐伯謙介氏）
10:30 森園が参加者が増えたため 6グループの（鬼山地区、森園地区、黒原地区、中村・布目地区、馬場地区、戸無・滝の口・黄川地区）に分ける
※開始前に マップ作りの説明をする
※命のバトン事業、緊急通報装置について説明
※馬場地域の命のバトン、緊急通報装置設置者の共有を図る
防災見守りマップづくりを通して 見守り支え合いの話し合いをする（30分程度）
11:00 マップに 災害危険箇所・消火栓の位置、災害を想定した避難箇所などを話し合う（30分程度）
11:20 まとめ（佐伯謙介氏より）
11:25 講評（馬場自主防災組織 安藤政信氏）
11:30 閉会 ※閉会后 藤堂時治氏の行方不明について情報提供をおこない 情報の提供を求める片付け
12:00 終了
フローチャートを使用して 初めて防災・見守りマップづくりを試みました。
進行は、マップ作りの説明も行いながら進めていきましたが、内容を十分に理解され、ほとんどの参加者が主体的に動いていただき、今回の防災・見守りマップづくりの目的は、達成できたと感じています。
また、命のバトン事業や緊急通報装置については、ほぼ全員知らず 情報提供及び命のバトンを導入している住民の共有を図ることができました。特に命のバトンについては、近隣の住民が命のバトンを導入していることを知っていることが有効活用に繋がり、導入している方の安心安全にも必要でありマップ作りとなりました。

